

今月の寺ともさん 染織作家 後藤のりこさん

今月の寺ともさんは、後藤のりこさんです。後藤さんは、5/15（火）～20日（日）高松市美術館の市民ギャラリーにおいて、後藤のりこ40周年記念染織展を開催します。芸術やおしゃれを楽しむご両親やご親戚の洋服屋さんの影響で、生地を見るのが幼い頃から大好きだったそうです。その才能が開花したのは、関西の短大で染色の授業に夢中で取り組み、副手として勤務し、下宿では織機（おりき）を用意して布を織った頃からで

した。高松には染めや織りの文化がほとんどなく、卒業後は地元で広めたいと思われたそうです。程なくして、香川県の美術工芸研究所の国内研修員に選ばれ、東京や京都の師匠のもとで研鑽を積みました。当初はマフラー・ショール・服地など実用的なものを織っていたのですが、自由な表現のできるタペストリーを制作し県展やモダンアート展に出品するなどして活動の幅を自ら広げられました。その結果香川県では初の「モダンアート協会スペースアート部門」の会員に推挙されたのです。そして念願だった地元での染織文化の普及活動を本格化させました。平成5年には自宅に工房を設立し、NHK高松文化センター・四国新聞文化教室・サンサン館みき等で「草木染めと手織り」の講座を開き多くの方々に親しんで頂いたのです。県内でこの分野に取り組む先輩は皆無にも関わらず、40年の長きに亘って走り続けられたのです。お写真は絹糸とステンレス線で織り込まれたタペストリー（作品名:陽光）の前でご主人とのツーショットです。ぜひ皆さん美術館へお運び下さい。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：はなちゃん
性別：♀
お年：1歳
種類：MIX
好物：チュール
苦手：面識のない人
住所：山下さん宅(高松市)
性格：キツイ

ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：山下さんちの駐車場に、親子でやって来たハナちゃんです。この家なら飼ってもらえると親に任された形で、飼うことになりました。ある日何日もハナちゃんが帰らず心配していると左脚に大けがをしています。車に轢かれたらしいのです。左脚切断の大手術をしました。面識のない人が与えたエサを食べないので、動物病院からすぐに帰らされたとか。でも今は元気一杯で、左の猫タワーで遊ぶのが日課です。

***** 総代さん便り *****

総代の山根です。今回は4/7（土）のふれあいセンター合同花見会の話題です。栗林・上ノ町・室新の3地区が合同で開催するお花見は、昨年に引き続き今年で2回目となります。約80人ほどの人が集まりました。当日は朝から強い西風が吹き、少し寒く感じました。空は明るく白い綿雲が切れ切れに東へと驚くような速さで飛んで行きます。満開の桜の下でお弁当を受け取り、食事中に各地区の方々の挨拶に続いて、カラオケが始まりました。塩江町出身の和泉幸弘さんが大きな声で「栗林音頭」を歌ってくださって、気持ちよく聞くことができました。食事が終る頃に、あいにく小雨が降り出しましたが、満開の桜は雨風に散ることがありませんでした。記憶に残る一日になりました。皆さんは、どんなお花見を楽しまれたでしょうか。

